

おおた文化の森

大田の顔 キラリ

観光大田のプロモーター ～栗原洋三さん(大田観光協会事務局長)～



「おおた商い観光展2008」のポスター

このところ栗原さんは獅子奮迅の活躍です。観光協会の事務室が産業振興会館(京急蒲田駅前)の奥まった部屋から、すぐ2階正面に移って、まるで受付のように千客万来です。昨年10月17、18日の「おおた商い観光展」はこの種の催しでは画期的な大盛況でしたが、観光部門を栗原さんと、名コンビの鳴島さんが奔走しておられました。ひきつづき続々と「のりのりビーチフェスタ」(11月8日、9日)「屋形舟ライブ」(11月24日)「初夢コンサート」(1月11日)などなど夢ふくらむ行事にさまざまな形でサポートされています。日常的に文士村関係やモノづくり観光関係の地道な企画行事もあたたかい応援を実行しておられます。



栗原洋三さん

栗原さんの「水好き」は関係者間で有名です。「水の話をしている時は機嫌が良い」そうです。水泳カボートの選手でもあったのか確かめてみたら、そうではなかった。ただし、いすゞ自動車(株)勤務のあと、今や大森界隈の名所になっているかの「大森ベルポート」に外向され、経営に携われた。同時期に、「しながわ観光協会」では水辺環境委員会委員長をつとめられた。山側でなく水側の立地に縁が深いようです。さらに現在、大田区観光の目玉、広域ウォーターフロントは、東京湾に面して、平和島、京浜島、昭和島を擁し、右手には多摩川、真正面に羽田空港と、「水」とは切っても切れない立地です。「水好き」の栗原さんとしては、これ以上の働き場はないのかもしれませんが。時あたかも、観光庁が10月1日発足しました。世をあげて観光時代です。タイミングよく栗原さ

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介します。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介いたします。

んのような人材が、大田区観光の要におられるのは、まさに適材適所です。栗原さんの才覚で大田区に広域観光ゾーンができつつあります。かの高名なる「マイセン」をもじって、馬込、池上、洗足池を束ねたものです。もちろん「マ・イ・セン」はこの3地帯を総称する栗原さんの造語です。観光はスポット(点)よりもゾーン(面)でとらえて広域を対象とする方が訴求力があります。3地帯が相乗効果で新しい大田区の観光ゾーンになるでしょう。栗原さんの長所は、枝葉末節にとらわれず、とにかくやってみようの精神と行動力でしょう。それでいて、夢を追うだけでなく、落としどころや勘どころはしっかりおさえておられる現実主義者です。栗原さんのご活躍を、大田区が、時代が、人々がおおいに期待しています。

運営委員 福野幸雄



馬込文士村大桜まつり

馬込地区自治会連合会会長
馬込文士村大桜まつり実行委員会委員長
菅 貢

昨年も落花紛々たる4月6日、盛大に18回目となる「馬込文士村大桜まつり」(以下「桜まつり」)を開催することができました。

「桜まつり」の淵源は、昭和28年、町の有志の方々が100本の桜の苗木を植樹した時に始まります。それから50年余りを経て、桜は立派に育ち、馬込の桜並木として親しまれる大田区屈指の桜の名所となりました。馬込はまた、大正の末から昭和初期を中心とした時期、多くの文士や芸術家が住み、桜まつりのにぎわい



桜まつりのにぎわい

いつしか「馬込文士村」と呼ばれるようになった地でもあります。

そこで、この貴重な文化遺産とも言える「馬込文士村」にちなみ、併せて地域の活性化、商店会振興の気持ちを込めたまちづくりを目的に、馬込地区自治会連合会・商店会が実行委員会を設置し、「桜まつり」を平成3年から毎年開催しています。

平成6年からは、『平家物語』の宇治川先陣争いで梶原源太景季が乗った名馬「磨墨」が縁で、岐阜県郡上市明宝(当時は明宝村)とも交流が始まりました。

この「磨墨」は明宝で生まれ、馬込で死んだといわれています。「大森区史」に『戦から磨墨が逃れて、駒落ちの谷(南馬込三丁目18、金子氏宅裏)に来て落命したのを現地に埋葬し、塚を建てた。明治初年頃、金子氏はその鞍と鎧を万福寺に奉納した。(趣意)』とあり、現在、万福寺にはその「磨墨」の像が建っています。

毎年、「桜まつり」には、この明宝からも多くの方々にご参加いただき、磨墨太鼓の披露や地元特産の明宝ハム等の販売を通して友好を深めております。

今年も4月の第一日曜日である5日に「桜まつり」を開催する予定です。この「桜まつり」を通して、地域を愛する人々の心が一体となり、以前にも増した「地域力」のある町となることを願っております。

ひともちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第1回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。



日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号

(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.30Web版

2009年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



おおた文化の森



文化の森 イベント情報 何でもあり

寒い季節だからこそ外に出ましょう。イベント盛りだくさん。ご参加お待ちしております。

楽しいイベントが一杯！ ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■2008文化の森フェスタ

～地域力で安全・安心なまちづくり～

防災基調講演・シンポジウム、防災・防犯関係のデモ・パネル展示・グッズの販売、まちづくり等に活動されている区民団体・個人の日頃の活動状況の紹介(パネル展示、体験コーナー)など地域力を高める「まちづくり」フェスタ

□開催日時:2月8日(日)10:00～17:00

□会場:ホール、多目的室、集会室、展示コーナーなど

[PDFチラシのダウンロード](#)

●内容

■防災基調講演 13:00～13:45

「災害時要援護者の支援について」「避難場所の指定について」 講師:中島寿美氏(大田区自治会連合会副会長・六郷地区自治会連合会会長)

■防災シンポジウム 13:50～15:20

「～高めよう地域の防災力～」

コーディネーター:青山 氏(明治大学大学院教授・元東京都副知事)

パネリスト:松原忠義氏(大田区長)、中島寿美氏、園木喜代志氏(東京消防庁大森消防署署長)／鈴木康紀氏(新井宿地区自治会連合会会長)／臼木葉子氏(入新井第二小学校校長)

□入場無料。直接会場へ(詳細については、1ページ参照)

■文化の森サロン交流会

文化の森を支える人たちのふれあいの場、懇談の場として、交流会を開催。軽食付き

□開催日時:1月17日(土)14:00～16:00

□会場:5階多目的室

□参加費:500円(当日直接会場へ)

[PDFチラシのダウンロード](#)

■ふれあいギャラリー 3月の催し

「水彩画グループ展 ～ いずみ～」区内でサークル活動を20数年続けている 水彩画サークル「いずみ」による作品展。

心温まる作品をどうぞご覧下さい。

□開催日時:3月7日(土)～3月22日(日) 9:00～17:00(初日は13:00から)

□会場 大田文化の森 4階 ふれあいギャラリー

□入場無料 どなたでもお気軽にどうぞ

※上記期間以外は、運営協議会による活動紹介パネルが常設展として展示しています。

[PDFチラシのダウンロード](#)

■文化の森サロン交流会

文化の森を支える人たちのふれあいの場、懇談の場として、交流会を開催。軽食付き

□開催日時:3月14日(土)14:00～16:00

□会場:5階多目的室

□参加費:500円(当日直接会場へ)

■ヤングフェス Oh!!盛祭(おおもりさい)

青少年が主体的に参画し、青少年委員と一緒に青少年の活動の成果を発表する場を「若者の手で作る」イベント。

ホールではバンド同士の交流を図るイベント、集会棟ではアイデア料理対決、茶道体験、百人一首、広場で模擬店など楽しい企画がいっぱい!

□開催日時:3月20日(祝)10:00～15:00

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介します。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介します。

□会場:ホール・広場・集会室他

■大田文化の森落語会季節寄席〈春〉

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、中央1丁目在住の三遊亭時松(二つ目)。笑いを通して地域の活性化を図る。演目は未定

□開催日時:3月21日(土)15:00~18:00

□会場:大田文化の森ホール □チケット:500円(前売、当日とも)、大田文化の森にて2月21日10:00から開催前日まで発売(未就学児不可)

[PDFチラシのダウンロード](#)

■親子で歌おう聴こう楽しもう、心に残る名曲コンサート

小さい子どももホールの中で一緒に楽しめる合唱やピアノ三重奏の名曲。出入り自由のワンコインコンサート

□開催日時:4月5日(日)14:00~15:00

□会場:大田文化の森ホール □定員:抽選で220名(子ども抽選で100名無料)

□参加費:500円(中学生以上) □申込:3月15日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■わくわく科学の森~びりりん・静電気実験

小学生の親子で取り組む科学の実験講座。わかりやすい実験で子どもたちの科学への興味を引き出す

□開催日時:2月21日(土)9:30~11:30

□会場:3階美術室

□定員:抽選で親子15組 □参加費:100円

□申込:2月13日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■親子でワークショップ~押し花アート~

さまざまな種類の押し花・押し葉を使用しドアプレートや写真立て、キーホルダー等の制作をする

□開催日時:3月7日(土)9:30~11:30

□会場:4階第2集会室

□参加費:500円(親子1組)

□定員:抽選で親子15組30名

□申込:2月23日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■ガーデニング講習会~春の花の寄せ植えを楽しむ

春の花の育て方、害虫駆除の仕方、肥料などについても学ぶ

□開催日時:3月8日(日)14:00~16:00

□会場:3階工芸室 □参加費:1,000円

□定員:抽選で30名(小学生以上)

□申込:2月23日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■ストレッチ・シェイプアップ体操

~チューブを使ってより効果的に!~

□開催日時:4月7・14・21・28日(各火)14:00~15:30 □会場:1階第1スポーツスタジオ

□参加費:2,000円 □定員:抽選で30名

□申込:3月19日必着

[PDFチラシのダウンロード](#)

■楽しく学ぶ ステップアップ写真講座

「きれいに撮りたい」「個性的な写真を撮りたい」など、撮影の方法や構図など楽しく基礎を学びます。講座終了後には、有志による写真展を開催

□開催日時:講座4月12日、5月10日、6月14日、7月12日、8月9日、9月13日(毎月第2日曜)

ひとまちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第10回 フォレストメーツ テクリ 一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがあります。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.30Web版

2009年1月1日発行

日)
10:00～12:00
 展示10月10日(土)～12日(祝・月)
 会場:4階第3集会室 参加費:6,000円
 定員:抽選で20名 申込:3月27日必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■読み切り朗読～時代小説へのお誘い

山本周五郎、その他の作家の時代小説の読み語り

開催日時:1月9日、2月6日、3月6日(各金)

15:00～17:00 会場:4階第3・4集会室

参加費:無料

定員:先着70名(当日直接会場へ)

 [PDFチラシのダウンロード](#)

■悠久の歴史を紡ぐペルシャ文化とイランの民

イランとアラブを混同する私たち。ペルシャ・イラン文化研究の第一人者岡田恵美子東京外語大名誉教授が語る

開催日時:2月11日(祝)14:00～16:30

会場:4階第3・4集会室 参加費:500円

定員:抽選で50名 申込:1月28日必着

 [PDFチラシのダウンロード](#)

■ひなまつりを楽しむ

ひなまつりに因んでおいしい和菓子と抹茶をいただき、琴の音を聞いて楽しむ

開催日時:3月1日(日)13:30～16:00

会場:3階調理室・和室 参加費:500円

定員:抽選で親子15組30名

申込:2月16日必着

 [PDFチラシのダウンロード](#)

■みんな違ってステキだね!

～シンポジウム特別支援教育～

普通学級に在籍する発達障害児の支援について他区の事例も紹介し、シンポジウムを行い、参加者と考える

開催日時:3月1日(日)13:30～15:30

会場:4階第3・4集会室 参加費:500円

定員:抽選で40名 申込:2月16日必着

 [PDFチラシのダウンロード](#)

■阿修羅って何だかわかる講演会

東京国立博物館で開催する「国宝 阿修羅展」の鑑賞に役立つ講演会

開催日時:4月5日(日)13:30～16:00

会場:4階第3集会室 参加費:500円

定員:抽選で35名 申込:3月19日必着

 [PDFチラシのダウンロード](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。



■文化の森」を利用した区民による「企画」、「アイデア」を募集

～「文化の森から自分のやりたい企画を実現してみませんか!!」～

大田区民の皆さんの自由な発想による「企画アイデア」を年間を通して募集しています。

「自分の特技を活かし、地域の役にたちたい」、「音楽や演劇等を通して文化活動を広めたい」、「こんな講座やイベントがあったらいいな」、しかし「その企画アイデアを実施するには、どのように進めていったらよいかわからない」とお考えの方、運営協議会がその企画の実現をサポートし、また、アイデアを区民のニーズにあった企画にまで育て上げ、実現するサポートを致します。

応募方法:A4サイズ用の紙に、

①企画アイデア ②お名前 ③連絡先(住所、電話番号、FAX番号)を記入の上、下記宛に郵送または持参してください。

〒143-0023 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会公募事業担当係

TEL:03-3772-0770



おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。
『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。
施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する
- 3.運営協議会が行う自主事業に参画する。

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。
営業時間 10:00~17:00
定休日 隔週月曜・全館休館日

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。



文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介します。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志



文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。

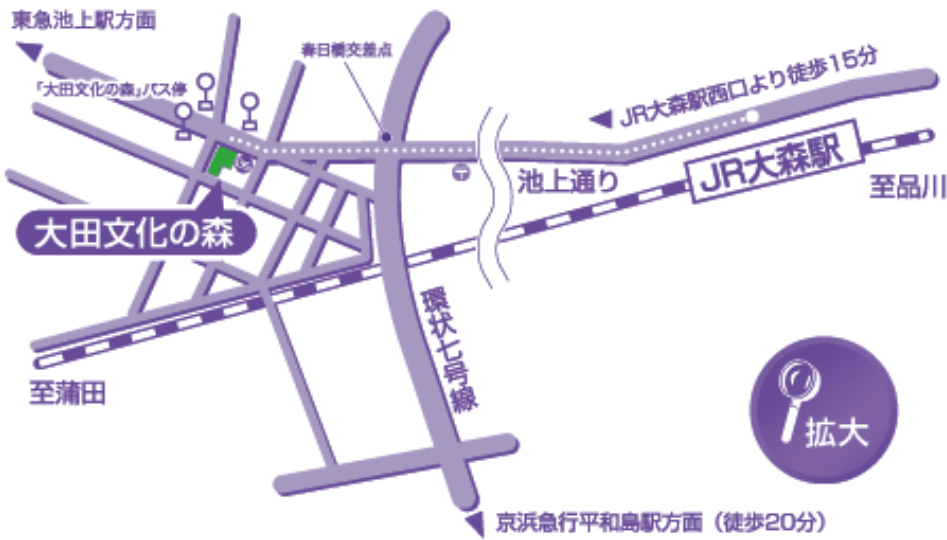


文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介します。

大田文化の森 アクセス情報



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

詳しい地図は[こちら](#)をクリックしてください。地図検索サイトNAVITIMEにリンクします。

ひとまちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第10回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



F&F 編集後記

◆昨年の一年は、とても早く感じました。春号完成でほっとする間もなく、夏号・冬号に向けて原稿依頼、いつも追いかけているようでした。その間多くの方々にご協力を頂きまして、感謝申し上げます。お陰さまで多忙な一年の締めができました。

運営委員 中屋錦江

◆文化の森運営協議会とともに歩んで、情報誌が30号を数えました。この機会に1号からざっと一覽して、その時その時の区民参加者と運営協議会の活動ぶりが鮮やかに反映されています。今後とも区民文化活動の理想を目指し、ただし現実も直視し、運営協議会の表情を発信しつづけたいと思います。

運営委員(編集長) 福野幸雄

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介します。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介します。

ひとまちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第10回 フォレストメーツ テクリ 一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

「森からはたらく」

新年を迎えて

大田文化の森運営協議会 会長 青柳 博之

あけましておめでとうございます。大田文化の森運営協議会は、区民の皆様の文化活動を支援する組織として、大田区の基本計画「おおたプラン2015」の理念に基づき、常に公開性・公平性・透明性をモットーとして運営して参りました。しかし、必ずしも、皆様の満足感達成には至っておりません。今年も皆様のご要望をできるだけ実現するよう、引き続き努力して皆様の文化活動創造の拠点として、「大田文化の森」の森を「区民の文化の森」として育てて行きたいと考えています。

文化活動を通して「地域力」を結集し、誰もが暮らしやすいまちづくりのお手伝いをと、運営委員全員はりきっています。

また、情報誌「おおた文化の森」も皆様のお陰で創刊30号を迎える事ができました。更なる内容充実に向けていく所存です。今後とも、運営協議会に対し、皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

特集

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～



「2008文化の森フェスタ」は、昨年度まちづくり実行委員会が実施した「まちづくりフェスタ」を拡大発展させて大田文化の森運営協議会が初めて開催する冬の一大イベントです。大田区内には多くの区民活動団体・個人が日々活動しています。それらの活動団体・個人(まちづくり、子育て支援、環境、教育、福祉、介護、防災・防犯、ものづくり、観光、文化・芸術・スポーツの振興等)の方々が一堂に会し、パネル展示、ワークショップ等を通して、その様々な活動の内容を一般区民に紹介し、交流を図って区民活動団体・個人間のネットワークを構築して、地域活動の担い手を増やし、地域力を高め地域の活性化を目的とする「安全・安心なまちづくり」を目指すフェスタです。その活動の一環として今回は「防災・防犯」をテーマに取り上

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介いたします。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。

元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

げ、防災基調講演・シンポジウム、防災・防犯に関するパネル展示等を行います。
イベントの概要は以下の通りです。

■ホール

●防災基調講演 13:00～13:45

テーマ：「災害時要援護者の支援について」

「避難場所の指定について」

講師：中島寿美氏

(大田区自治会連合会副会長・六郷地区自治会連合会会長)

●防災シンポジウム 13:50～15:20

テーマ：「～高めよう地域の防災力～」

コーディネーター：青山 氏(明治大学大学院教授・元東京都副知事)

パネリスト：松原忠義氏(大田区長)、中島寿美氏、園木喜代志氏(東京消防庁大森消防署署長)、鈴木康紀氏(新井宿地区自治会連合会会長)、臼木葉子氏(入新井第二小学校校長)

●防犯寸劇(大森警察署) 15:20～15:50

「振り込め詐欺」他

■多目的室・ふれあいギャラリー：区民活動団体・個人の活動紹介パネル展示、ワークショップ(展示・体験・販売)

■集会室：講座・展示「浮世絵・かわら版にみる江戸の防災」

■展示コーナー：PSI池上自主防犯パトロール隊の活動紹介パネル展示、児童・小学生の防災・防犯ポスター展示

■広 場：起震車体験、子ども消防服試着・消防自動車試乗体験、子ども白バイ制服試着・白バイ試乗体験等

■その他：防災・防犯グッズの展示販売、救急救命の実演等

■入場無料。直接会場へ

また、昨年度の「まちづくりフェスタ」と同様、区民活動団体の活動内容を一般区民に広く知っていただき、その活動を共に「たたえあい」、「ささえあう」ことにより、明日への活力を養っていただきます。本フェスタが「安全で、安心して暮らせる」また「心豊かな明るい」地域社会づくりのきっかけを、ここ大田文化の森から発信できればと願っています。

皆さんとともに、～安全・安心なまちづくり～を体験してみませんか! 楽しいフェスタとなることを願って、皆さんのご来館を心よりお待ちしております。

なお、区民活動団体のパネル展示は平成21年1月23日～30日に開催される大田区 区民・国際交流課 区民協働担当による「NPO・区民活動フォーラム」の「活動紹介パネル展示会」と連携します。

文化の森フェスタ実行委員長／運営委員 宗 正雄



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介します。

ひとまちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第11回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 例でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込

多数の場合は抽選となります。
■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.30Web版
2009年1月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



2008 文化の森 収穫祭報告

～11月16日(日)に行われた秋の全館イベント～

収穫祭は大田文化の森の一年間の集大成です。今年は「みんなでワッショイ！楽しもう」をテーマとし、その実現のためのキャッチフレーズの一つに「来館者(お客様)、参加者、スタッフの連携と一体」を掲げました。

雨の中でのスタートでしたが、朝から来館していただいた方も多く、夕方4時半終了時には集会棟1階ロビー入口での来館者数を数えていたカウンターの数値は1000名を越えていました。

雨のため、朝の時点で中止を決めていた広場でのイベントも、昼には一時雨が上がり、なんとか30分遅れで予定していたすべての演目を実施することができました。中止から一転、天候を見てすぐに実施するには、参加者とスタッフの熱い気持ちと密な連携、そして来館者の楽しもうとする気持ちがないと出来なかったことです。

ホールでは12企画を実施いたしました。歌、演奏、踊りに落語や着物ショーと子どもから大人まで楽しめる幅広い演目でした。集会棟ではワークショップ、展示、模擬店そして子供たちを対象としたパズル型オリエンテーリングを実施いたしました。

ワークショップは21団体・個人が参加、いずれも体験や講習コーナー等を設けて参加者の思いや技術、苦労などを伝え、お客様は自ら作品を作るなどという参加型の内容でした。

展示は1階展示コーナーには14団体、4階ふれあいギャラリーには6団体・個人が活動報告や作品を出展いたしました。

模擬店は栄養価を考えたという松花堂弁当から手作りの素敵なおマフィンやクッキー、そして珍しいネパールやミャンマーの料理等となかなか他では味わえないメニューとなり、大変好評でした。もちろん、ほとんど売り切れとなりました。

パズル型オリエンテーリングは小学生対象で、各階を巡りながら問題を解き、その解答を書き込んでパズルを完成させるというものです。

来館者のアンケート結果も「大変良かった」「良かった」でほぼ100%と好評でした。主催者側としては反省点も多々ありますが、それらは来年の課題といたします。

文化の収穫祭実行委員長／運営委員 古屋伸樹



特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介します。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介します。

文化プレーヤーレポート

世界のお茶コーナーにて

異文化交流実行委員会では、前回のフェスタに続き収穫祭でも「世界のお茶コーナー」を開き、チャイ(インド等)、コーン茶(韓国)、蓮茶(ベトナム)等のアジアのお茶や、カモミールにレモンバームを加えたハーブティーを用意し、来場者の方に味わっていただきました。

小学生から百歳というおじいちゃままで、100人以上のお客さまがいらっしやり、ゆっくり座っていただき、各国のお茶の話や、チャイの作り方の説明をしたり楽しい会話を通して、「文化の森」や「異文化交流実行委員会」の活動に、興味を持っていただけたように思います。私たち委員一同も楽しい時間を持つことができました。



文化プレーヤー 野溝 淳子

笑顔あふれる～グルメ街

昨年よりも模擬店参加者が少なかった為、休憩食事コーナーを設けました。多くのご来場者があり、参加店の各々の販売品は人気があり、ネパールのトマトライス、ミャンマーのやきそば・日本の洋風松花堂弁当類は販売する前に行列ができ、12時過ぎには完売となりました。急遽おにぎりを販売し、喜んでいただきホッとしたのです。休憩コーナーでは、楽しい雰囲気と和気あいあいと、食事をしながら会話をしている光景は、自然と人の輪が広がり、またお子様を通して交流する機会となったのを実感しました。楽しみながら充実した一日でした。

文化プレーヤー 白井 芳子

羽村・川越研修交流会レポート

快晴に恵まれた10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行き来しました。多摩川周辺の自然や武蔵野の面影を残す羽村市は、同じ東京でありながら文化の森からは遠く離れていました。二年前、羽村市が学習センター創設にあたり、市教育委員会の職員が来館して文化の森の活動を参考にした経緯があり、今回はその経過と意見交換をしようと企画されました。

生涯学習センター「ゆとろぎ」は、羽村市教育委員会と市民の会が「参加する喜び」を共通理念に活動していて、施設や企画されるイベント等は文化の森よりはるかに大規模なものでした。

建物は近代的なガラス張り、目を見張るばかり、ホール、茶室、キッズルーム、展示場などどれも羨ましいものでした。

企画では「日本フィルのコンサート」、「劇団四季の公演」また、講演会は日野自動車や杏林大学の協力を得て実施していて、大変スケールの大きな催しに圧倒されました。大田区の「アプリコ」、「区民プラザ」、「文化の森」の機能を併せ持った施設なのだと分かりました。限られた時間内での交流でしたから、ボランティアの活動の様子を詳しく話し合えなかったのが、とても残念でした。今後も交流を継続し、さらなる進展を確認しあって羽村を後にしました。

小江戸とも呼ばれる川越(埼玉県)では、昼食の後、時の鐘、喜多院、蔵作りの街並みを散策し、駄菓子横丁では土産を求めて、充実した一日を有意義に過ごしました。

文化プレーヤー 佐野 美清

ひとまちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第10回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。

地域ネットワーク つながり

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX) をご記入願います (1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

沼本 光史 (ぬまも こうし)

「一人を大切に&心こそ大切なれ」と教えられても、はなからダメな私。。

バス車中。。司馬遼太郎が「アメリカ素描」のなかで『文明』と『文化』の「定義をしたい」とこう書いています。『文明』は「普遍的なもの・機能的なもの」、『文化』は「特定の集団においてのみ通用するもので・普遍的ではないもの」と。だから「普遍的な信号機などは『文明』で、民族固有の仕来りなどは『文化』だ」というのです。うーむ。。

とすると、文化の森の「箱・建物」は『文明』。集う「区民各位とその催事」は特徴的・主観的・固有の主張だから『文化』そのもの。すると我が文化の森はずばり、氏のいう『文明』と『文化』共生の「地域現場」だ。その、はざまに位置する運営協議会。まさに渡し舟。だからこそ射たかじ取りと信頼性が厳しく問われるところ。ひとはきっちり観ているぞ！

いや、しかし。この「館」が今のままでいいの？ 区民のありようが現状でいいの？ ってことになると、話は別だ。みんな、一生懸命、みんな精一杯頑張っている それは納得済み。だからこそ、「NEXT ONE」を明確に志向して前進してないとお互い、つい惰性と傲慢に執りつかれていて気付かない。管理側の「奉仕の哲学」と活用する区民の「愛館の哲学」。この深化こそ「森」の古くて常に新しい文明的課題のはずだ。しかし、これ馬鹿にしているとあっという間に「森」は『死の文明』と『死の文化』の溜まり場に。だから？ キーワードは？ やっぱ「一人の区民を大切に」からだ、と自問。

“さあ、行こう！”だって文化の森は、私の修行の場なのだから。

“あっ、「前」のバス停”文化の森だ。

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。



誰でも楽しめる実行委員会
募集しています!

いっしょに実行委員として、活動してみませんか?

誰でも楽しめる実行委員会では、文字通り、誰もが楽しめる企画を実施しています。

毎月第1火曜日、夜7時から、実行委員会を定期的に開催しております。この中で、様々な議題を協議しています。ここから、様々な企画が誕生しました。毎回、活発な意見が交わされ、時には予定時間の9時を過ぎてまで、議論が白熱す

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催
～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。



文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介します。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介します。

ることあります。継続的な企画と、イベント的な企画と、それぞれ特色を持った活動を行っています。文化の森の重要な要素でもある、運営を区民の手で行うというスタンスを、忠実に実行しているのが、誰でも楽しめる実行委員会だといえます。今後ますます公益性を求められる文化の森の運営に当たって、誰でも楽しめる実行委員会は先駆的な委員会といえると自負してきました。



森の朗読会

私たちといっしょに、これから文化の森の活動をともに作り上げていく仲間を募集しています。一度、実行委員会に参加してみませんか？皆様のご参加をお待ちしています。

文化プレーヤー 坪井久美子

2009年1月～3月 運営協議会【会議】スケジュール
※問い合わせは月～金(9:00～18:00)の間に願います。

- 文化会議(毎月第1・3金曜日)19:00～21:00(第2集会室)
1月16日、2月(2)・6・20日、3月6・27日
*()内は臨時文化会議予定日。
*文化会議は、運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。
- 役員会(文化会議のある週の火曜日)16:00～18:00(講師控室)
1月13日、2月3・17日、3月3・24日
- 文化プレーヤー事業部(第1・3木曜日16:00～18:00)
1月15日、2月5・19日、3月5・19日
- 広報事業部(第1・3火曜日10:00～12:00)
1月6・20日、2月3・17日、3月3・17日
- 実行委員会
 - 芸術事業実行委員会(第2金曜日19:00～21:00)
1月9日、2月13日、3月13日
 - 誰でも楽しめる実行委員会(第1火曜日19:00～21:00)
1月6日、2月3日、3月3日
 - 子ども・若者たちの実行委員会(第2金曜日14:00～16:00)
1月9日、2月13日、3月13日
 - まちづくり実行委員会(第1木曜日10:00～12:00)
1月8日、2月5日、3月5日
 - 異文化交流実行委員会(第1木曜日10:00～12:00)
1月8日、2月5日、3月5日
 - 文化の森フェスタ実行委員会(第1木曜日19:00～21:00)
1月15日、2月5日、[2008文化の森フェスタ]2月8日(日)開催

ひとまちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第10回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.30Web版
2009年1月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



元気印

文化プレイヤー

お金に換算できないものを生む 文化の森のボランティア



「カナダのハロウィンとランタン作りを楽しもう！」
異文化交流実行委員会企画。10月19日(日)実施。大勢の家族、親子、友人同士で、ランタン作りを楽しみました。皆様も催しの企画や実施と一緒にやりませんか。
※問合せ：大田文化の森運営協議会 TEL03-37720770

お金に換算できないものを海、文化の森ボランティア

子育てや仕事に忙しい現役世代が地域ボランティアに時間を割く理由について考えてみた。人それぞれ理由があると思うので、是非いろいろな方の考えを聞いてみたいと思うが、私の場合は、「お金に換算できないものへのこだわり」が理由ではないかと思う。仕事では収入やキャリアという報酬が得られるが、ボランティア活動では自分が地域に向かって何かを発信しているという実感が得られる。
また同業者が集まる職場と違い、様々な経歴を持つボランティア仲間に出会えて楽しい。これらが私がこだわりを感じている「お金に換算できないもの」だ。他にもある。「勝ち組、負け組」などという貧相な言葉で人や生活を分け隔てるのではない、多様でゆとりある文化を育てたいという気持ちがある。10年、20年後に社会に巣立つ子どもたちに、生き生きとした地域社会を手渡したい。

「お母さんたち、頑張ったね。」
と言ってもらえるようにしたい。
これも私がこだわっている「お金に換算できないもの」であり、ボランティアの力でコツコツ積み上げてゆくことのできるものだ。もちろんボランティアをしていると、うまくゆかなかったり失敗したりすることも多々あり、「どうしてボランティアなのにこんなに苦労するの？」など

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化プレイヤー レポート

文化プレイヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介します。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとりろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。

元気印 文化プレイヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介します。

と落ち込んで、仲間や家族に愚痴を聞いてもらうこともある。でもたいていは暫くするとまた元気になっている。これが私の地域ボランティアだ。

文化プレーヤー 山本 祐子



家族でランタンづくりのスタート！



カラーコーディネート活用教室

文化の森育ち カラーコーディネート活用教室

「自分に似合う色って何？」「カラーコーディネート(色の配色)に自信を持ちたい！」身の回りに溢れ、毎日の生活に身近な色彩。

活用できるまでつづけて学べ、また広く地域の方々に親しんでいただければと思い運営協議会の公募企画に連続講座で応募しました。モットーは、「楽しく気軽に「色の美意識」学び、自分を発見しながら、日々の生活に活用しよう”スタッフの方々に企画の考え方や広報、運営方法などさまざまなアドバイスをいただき、おかげさまで20代から70代の女性の皆様に多数ご応募、ご参加をいただきました。講座ではワークショップを多く取り入れるため、世代に関係なく参加者の皆様どうして楽しく交流されていました。

「色を意識してみることができるようになりました」「これからも続けて学びたい」という皆様からのメッセージを励みとし、これからも文化の森で「カラーコーディネート活用教室」としてサークル活動につなげてまいります。また今後、色彩によってあらたな自分を発見できる“色彩セラピー”を取り入れ、「自分を元気にしてくれる色」「癒してくれる色」など、心と色の関係に触れる“ぬり絵”や自由制作も加え、幅のひろい色彩活用ができるサークルにしていきたいと思えます。興味のある方、色でちょっと元気をもらいたい方、老若男女問わずどうぞご参加ください。



※問合せ：humancolor@cup.ocn.ne.jp

文化プレーヤー 山崎 ひろみ

ひとまちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第10回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX) をご記入願います (1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

ひとまちも元気にする文化ボランティア

～文化ボランティア全国フォーラムin東京 開催される～

10月31日から11月3日まで、第4回を迎えた「文化ボランティア全国フォーラムin東京」が都内各地で開かれました。3日間を通じて全国各地から延べ400名が参加されました。文化の森運営協議会は主要なメンバーとして参画し、大田区分科会を主催しました。このフォーラムは、各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。



全体会議 10月30日 中央区日本橋劇場にて
パネリストを中心とした討議の中で、意外に「小さな政府」であった江戸幕府、閉鎖的な体制にみえた時代を開放的にする効用があった参勤交代、粋の文化とボランティアリズムなど、新鮮な切り口での知識やヒントが披露されました。また欧米の著名な都市を凌駕する現代東京の都市としての魅力、特性、自然条件と歴史資産が、具体的に例示されました。さらに区民と行政との協働により、ややもすれば無味乾燥に陥りがちな交通や環境の改善運動も、ひとたび視点を変えて、文化的な地域活動の一環として実践されれば、地域文化の香るまちづくり活動となることが力説されていました。

大田区分科会 10月31日 大田区大田文化の森にて

大田区での分科会は区の内外から80名近い参加者の盛況でした。午前中のシンポジウムでは、大田区の4文化団体(大田文化の森運営協議会、馬込文士村継承会、馬込文士村ガイドの会、ものづくり観光クラブ)の活動報告が主体でした。馬込文士村や町工場、多様な顔を持っている大田区の魅力や誇りに具体的に触れつつ、親しく交歓が行われ、意外な発見や新しい動機が生まれたようです。文化ボランティアの活動が大田区の「地域力」をたかめる源泉との認識されたようです。大田区文化関係グループのネットワークを形成する気運も出てくると思われます。ランチ交流会の後、午後は、運営協議会のワークショップやものづくり観光クラブツアー、馬込文士村継承会・馬込文士村ガイドの会ツアーなど4コース



馬込文士村ガイドの会ツアー

特集

新年を迎えて

運営協議会会長から新年のご挨拶です。

いよいよ「文化の森フェスタ」開催 ～地域力で安全・安心なまちづくり～

読み応えのあるコラムが自慢

2008文化の森 収穫祭報告 ～秋の全館イベント～

昨年11月16日(日)に行われた全館イベント、文化の森収穫祭の様子をお知らせします。

文化プレーヤー レポート

文化プレーヤーの皆さんの活動報告です。今回は「文化の森フェスタ」での活動を紹介します。

羽村・川越研修交流会レポート

10月9日、39名の参加者は羽村生涯学習センター「ゆとろぎ」に行ってきました。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は沼本光史さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「誰でも楽しめる実行委員会」です。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は「カラーコーディネート活用教室」を紹介します。

のメニューが用意されました。

総括会議 11月1日 墨田区江戸東京博物館にて

第一日の全体会議、第二日の分科会を踏まえて、総括会で締めくくられました。分科会の9区が各々、内容と成果を発表されました。各区自由に企画実施されただけに、内容も個性的でした。意欲的な発表の中から、フォーラムの全体会議や分科会を通じて「新しい知識」を躊躇なく取り込む柔軟性や、夢を膨らませる「想像力」、「市民知」などが養われるのが痛感されたこと、実践的には、まちづくりのテクニック、行政、企業などとの関係の作り方、組織作りのノウハウなどなども学習することができたこと、ボランティア活動が観念的に陥らないためには、必要最低限のスキルやノウハウが必要で、それを今回の全国フォーラムのような機会が提供してくれたこと、などが注目されました。



ものづくり観光クラブツアー

文化ボランティア全国フォーラム副実行委員長
運営委員 福野幸雄

ひとまちも元気にする文化ボランティア 文化ボランティア全国フォーラムin東京

各地域で活躍する文化ボランティア団体のコーディネーターや文化行政担当者、文化ボランティア実践者などが集まり、情報交換や交流を図ることを目的としたものです。

第11回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田の顔 キラリ

今回は大田観光協会の事務局長である栗原洋三さんです。

地域ネットワーク

日頃まちづくり活動をしている人や元気になるイベント支援しています。数々のワークショップやイベントをご紹介します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森側でもあり

芸術・文化の季節到来です。たくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがあります。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.30Web版
2009年1月1日発行

第11回 フォレストメーツ チクリ一筆

わが町の防災力は？

「大田文化の森」を中心に新井宿地区は数々の歴史もあり、環境にも恵まれた素晴らしいところに我々は生活していると思います。近い将来（30年以内）、大きな地震が来るといわれており、この地域は地盤の弱いところもあり、住宅の密集地でもあり耐震構造の新しい家や、昭和56年以前の古い家が入り混じっているのが現状です。大きな揺れで家屋も倒壊し、火災も起こると言われています。新しい家は倒壊を免れても火事で消失すれば全財産を失うことになります。そこで火事をいかに出さないかを町会ぐるみ、個々のレベルで対策することです。毎年実施されている各町会の防災訓練を見ても、参加者は人口の2%~5%で役員を含む高齢者が多く若い人の参加者は非常に少ないのです。このような状態では、わが町はわが手で守る事はできません。

我々消防団も地域の皆さんと種々の問題を真剣に考えて防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりをして行きたいと思います。私たちは「大田文化の森」とその周辺を守る一人として常に無事故を祈っています。

大森消防団第四分団長 時任 勉(ときとう つとむ)



発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。